

森林工芸館の

あれこれ

no.04
7
2020

町民であれば一度は目にしたことがある「オケクラフト」。

普段暮らしの「食卓」に。

学校の美味しい「給食」に。

大切な人への「贈り物」に。

「オケクラフト」は、

より良い暮らしのための道具なのです。

木材に合わせ、

これらを生み出すのは「プロの業」。

みなさんのお手元に届くまで、

製品一つひとつに

ドラマがありました。

今回は、オケクラフトがショップに並ぶまでの経過、「作り方」について見ていきましょう。

oke-craft の作り方



- ろくろ編 -

置戸町の地域クラフトブランドである「オケクラフト」は、町内に工房を構える 25 人の「作り手」が製作しています。今回は、オケクラフトが「どのように作られているのか」をご紹介します。



① 木取り

きどり

仕上がりに木目が生きよう考えながら、欠点を避け板材から円形に木取りしていく。円の成形は帯鋸で行う。

木目：年輪がつくる模様
欠点：成長のためのキズ
木の個性
帯鋸：no3 にて解説



② 荒・中削り

あら・なかけずり

木工ろくろに木取りした材料を取り付ける。回転の際、ブレないように中心を出して固定する。乾燥による収縮を考え、製品寸法より少し厚く削る。

乾燥による収縮：
水分が抜ける時に収縮する
木工ろくろ：no3 にて解説



③ 仕上げ削り

しあげけずり

収縮によるゆがみを直しながら、完成品の厚さまで削る。作業の途中で木型をあてて、形状に狂いがいないか確かめる。

木地に残っている水分を、電子レンジや自然乾燥で飛ばす。
※完成品は電子レンジ NG！

乾燥

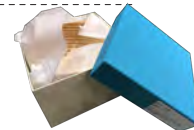


④ 塗装

とそう

塗装はブレポリマーでの樹脂含浸した後、下塗り→中塗り→仕上げと塗り重ねていく。エアージェンで四方から塗料を吹きかけ、各工程ごとに乾燥をしっかりと行う。

木くず：削りで出た木の粉
エアージェン：空気の圧を利用し塗料を吹きかける道具



⑤ 箱詰め / 納品

はこづめ / のうひん

塗装し終わった製品を自己検品した後、薄葉紙で包み、箱に納めて納品する。

自己検品：完成品に問題がないか調べる
薄葉紙：緩衝剤・梱包材となる薄い紙

置戸町公式 YouTube チャンネル「オケクラフトの作り方」



0:27~



1:03~



3:09~



4:11~



4:29~

オケクラフトとは…

置戸町の「オケ」、昔から地域産業として生産されていた曲げ桶の「オケ」と、「クラフト」を合わせた地域クラフトブランドです。工業デザイナーの故秋岡芳夫さんが名付け親で 1983 年に誕生しました。エゾマツをはじめとした道産材を使い、器やカトラリーなど、暮らしの道具を作り手が製作しており、現在町内には 24 の個人工房があります。

次号 (no5) は、オケクラフトの歴史について掲載します。作り方の動画はコチラから



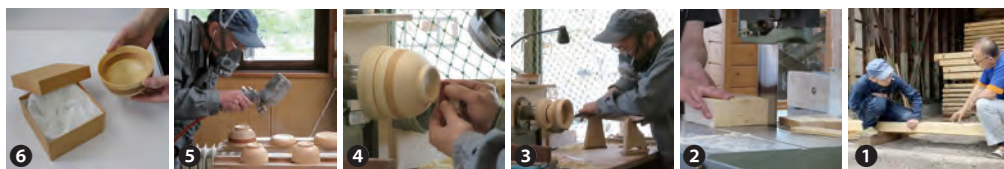


作り手さんの1ヶ月

表では、オケクラフトの作り方を紹介しました。作り手は効率よく生産するために、一連の流れを1ヶ月の中でスケジュールを組み作業をしています。

今回の「塾生さん、いま何してる？」は特別編。今年3月に卒業し共同工房で生産活動をする齊藤さんの1ヶ月取材しました。▶▶▶

木工房 kitto
齊藤 陽英さん



①木材の仕入れ(約一日)
森林工芸館から買うか、自分で探し、目的に合わせ木材を仕入れていきます。

②木取り(約五日)
一つの材だけで作るのであれば、大体一日で終わる作業ですが、私は貼り合わせる材の準備があり、他の工程も平行して行うので一番時間がかかりますね。

③荒・中削り(約三〜四日)
貼り終わった材を削ります。その後置いておき、ゆがみを出し切るまで一ヶ月くらいかかるので、早めるために電子レンジを使っています。

④仕上げ削り(約十日)
この時いろんな刃物を使って製品を仕上げますが、刃の調子が出来具合を左右します。一つひとつの道具の大切さがわかる工程です。

⑤塗装(約四〜五日)
どぶ漬け(樹脂含浸)、下塗り(目止め・木地の土台を作る)、中塗り(塗膜を厚くし傷から守る)、上塗り(お化粧)というように、四度の塗装をしています。気温や湿度で仕上がりが変わってくるんですよ。

⑥納品(約一日)
出来具合を確認し、薄葉紙で包んでショップに納品します。

◎好きなことは？…【試作】
思いを形にできるので好きですね。没頭できる時間です。自分で考えた物が形になって、お客さんが愛用してもらえようという素敵な作品を作っていきたいです。

鹿の子沢季節便りリレーコーナーについて

「鹿の子沢季節便り」と「森林工芸館のあれこれ」。どちらも置戸の近くで知らない魅力を伝えたい！として出来上がった紙面だから、一緒に面白いことをしてみよう。そんな思いから紙面でのリレーをはじめてみます！ここから生まれる何かを期待して。



リレーコーナーのタイトル「もりのリレー」のロゴです。リレーコーナーの目印に。これからチェックしてみてください。

季節便りの5月号では、様々な樹木の展覧会が取り上げられていましたね。

私たちは「もふもふ」に目を奪われたので、もふもふのサワシバについてリレーしましょう。といっても、オケクラフトではサワシバは使用されていない！同じカバノキ科で許して。

今月の一品でも取り上げているカバノキ科カバノキ属の「メジロカバ」は赤太と白太のコン

トラストが美しい樹木です。みなさんがお持ちであろう100周年のボウルもメジロカバで作られていますよ。つるんとした削り肌のメジロカバは手触りよく手馴染みもよいです。しまい込まずに愛用してくださいね。



100周年記念ボウル

今月の一品

かくれた一品 おすすめの一品
毎日 オケクラフトとともにいる
私たちの一品をご紹介します！



商品名：小椀 120
サイズ：直径120×高さ70mm
価格：4,500円(税抜き)
樹種：メジロカバ

私がおすすめする一品は、木工房の「メジロカバの小椀」です。メジロカバ独特の中心部の赤い部分と外側の白い部分が存分に生かされていて、木目の美しさと色合いの奇麗さが際立ちます。オケクラフトは持っているけど特別な時にしか使わないと聞くことがありません。ぜひ毎日の食卓で使って、手触り、使い心地の良さを楽しんで頂けたら嬉しいです。贈り物にも自信をもっておすすめできる一品です。



「木に親しむ日」の木工教室のお知らせ

1953年、戦後の日本で故岡芳夫さんが設立したデザイン事務所「KAK」。高度経済成長期を背景とした日本で、人間らしい生活を取り戻すために生まれた家具達を、今回の木に親しむ日ではひとつ選択して製作していきます。選択肢は右の2つ。受付の際に希望を伝えてください。

参加受付は7月1日(水)～7月15日(水)までです。通常よりも短い日数となるため申込み受付は原則、全日程参加可能な方に限ります。参加を希望される方はお早めに森林工芸館(52-3170)までご連絡ください。

内容：木製家具1点

時間：19:00～21:00

場所：森林工芸館(旧開発センター)木工室

対象：18歳以上の置戸町民

定員：5名

参加費：5,000円

講師：青島弘明(木工工房 弘)

那珂 琴絵(ども工房研究員)



①【本棚兼テーブル】
幅 611×奥行 590×高さ 525mm



②【サイドテーブル】
幅 690×奥行 360×高さ 390mm



◎今年のスケジュールは下記のとおりです。

日程：8月4日(火)、8月18日(火)

9月4日(金)、9月18日(金)

※今回は8月からの開始となるため、全4回の日程となります。

※コロナウイルス感染防止対策のため、中止となる場合があります。